

可動棚付デスクラック

この度は、当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本説明書を組み立ての前に必ずお読みの上、正しくお取り扱い下さいますようお願いいたします。
また、本書を大切に保管して下さい。

組み立て時のご注意！

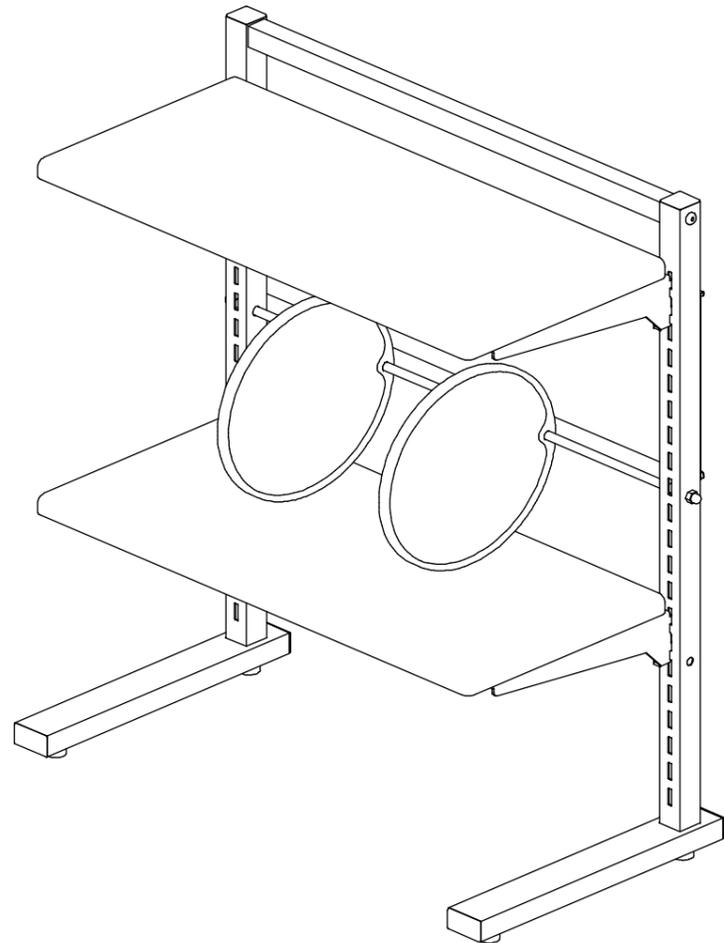


- 組み立てる際は、指先などを傷付けないよう、手袋等を着用して下さい。
 - 開封する際は、カッターナイフなどで本体を傷付けないよう十分ご注意下さい。
 - 工具類の取り扱いには、十分ご注意下さい。
 - 組み立ての際はお子さまに注意し、なるべく広い場所で行って下さい。
 - 組立説明書に従って組み立てて下さい。組み立て手順を間違えると、組み立たない場合があります。
 - 組み立て手順に従い、ネジ等で確実に止めて下さい。不十分ですと、製品が破損したりケガをする恐れがあります。
- ※ 部材や床などにキズが付かないよう、ダンボールや毛布等を敷いて組み立てて下さい。

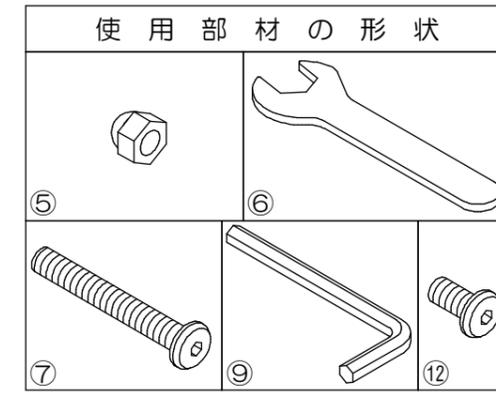
使用時のご注意！



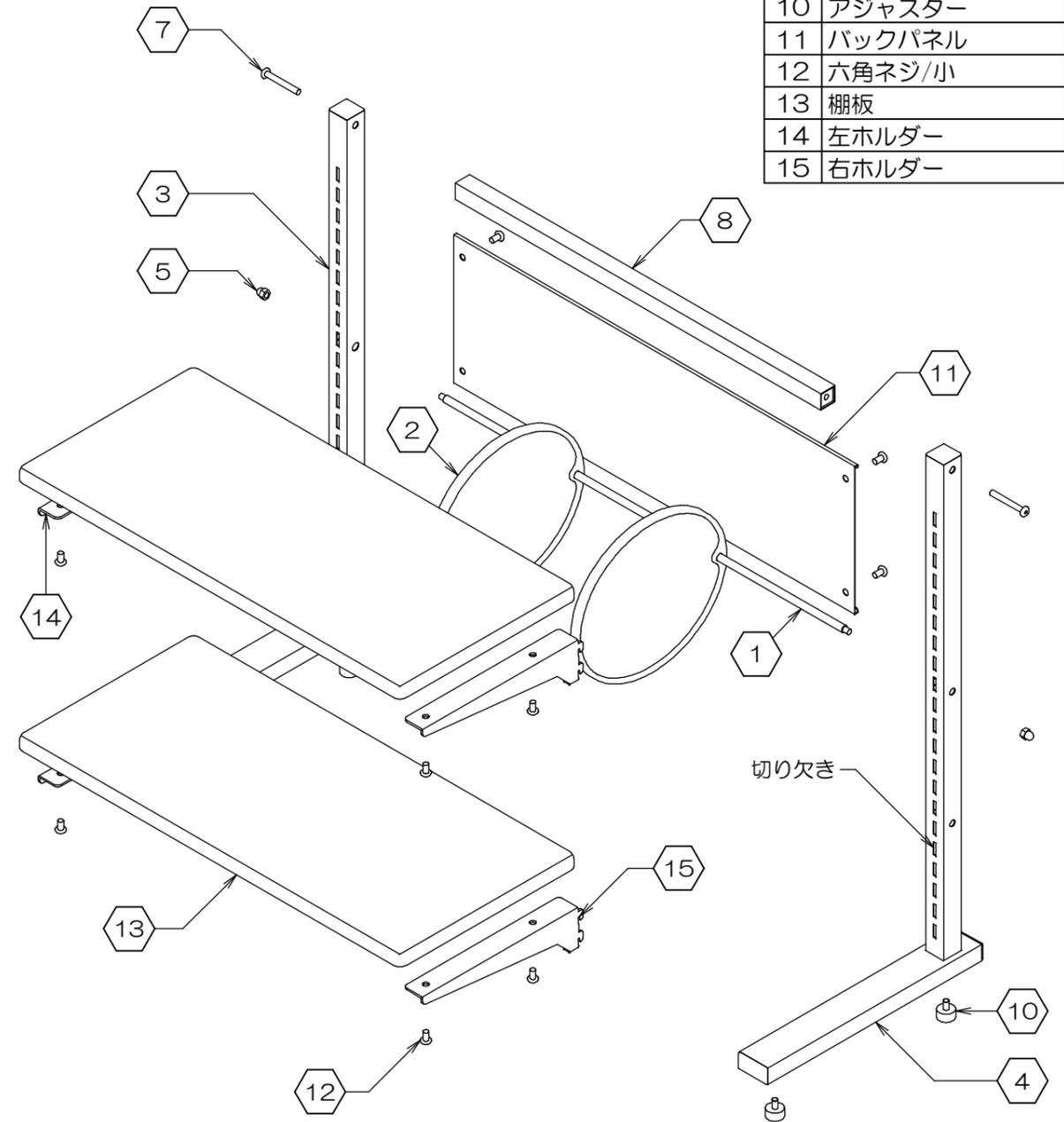
- 本製品に乗ったり、重いものを引っ掛けたり、耐荷重以上のものを載せたりしないで下さい。転倒したり、壊れてケガをする恐れがあります。
 - 高温のものを直接当てたりしないで下さい。塗装面が変色したり、剥がれることがあります。
 - 直射日光や冷暖房器具の風を直接当てないで下さい。歪んだり変色したりすることがあります。
 - 本製品は防水仕様ではございません。水に濡れた場合は放置せず、拭き取って下さい。また、高温多湿な場所でのご使用は、劣化が進む原因となります。
 - 分解や改造をしないで下さい。破損したりケガをする恐れがあります。
 - 異常を見つけたらそのまま使用せず、製造元へご連絡下さい。
- ※ 改善のため、予告無く仕様を変更することがあります。



組み立てる前に、各部品を確認して下さい。



項目	部品名	数量
1	丸パイプ	1
2	仕切り板(YS-52)	2
	仕切り板(YS-54)	3
3	左フレーム	1
4	右フレーム	1
5	袋ナット	2
6	スパナ	1
7	六角ネジ/大	2
8	角パイプ	1
9	六角レンチ	1
10	アジャスター	4
11	バックパネル	1
12	六角ネジ/小	12
13	棚板	2
14	左ホルダー	2
15	右ホルダー	2



製品仕様 外形寸法：YS-52＝幅58cm×奥行31cm×高64cm 重量：7.1kg 総耐荷重：20kg
YS-54＝幅85cm×奥行31cm×高64cm 重量：9.8kg 総耐荷重：20kg
主要材料：スチール、パーティクルボード
表面処理：スチール部＝パウダー塗装、ボード部＝PVC貼り



A0621-R3

お問い合わせ先
製造元：株式会社 林製作所 072-960-0500
〒578-0925 東大阪市稲葉1-4-50
ホームページURL：https://www.hayashi-yumeita.com/

YS-52
YS-54

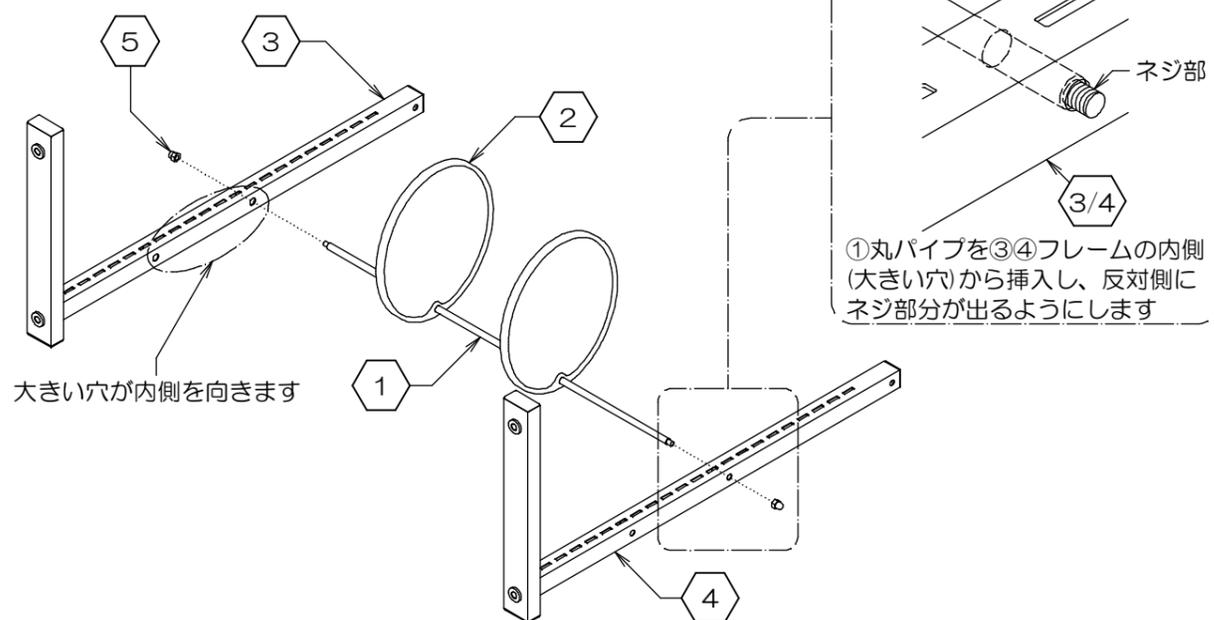
1. フレームの組み立て

- 予め①丸パイプを②仕切り板2枚(YS-54は3枚)に通しておきます。

※ フレームは大きい穴が内側を向きます。左右を間違えると、組み立てることができません。(図A参照)

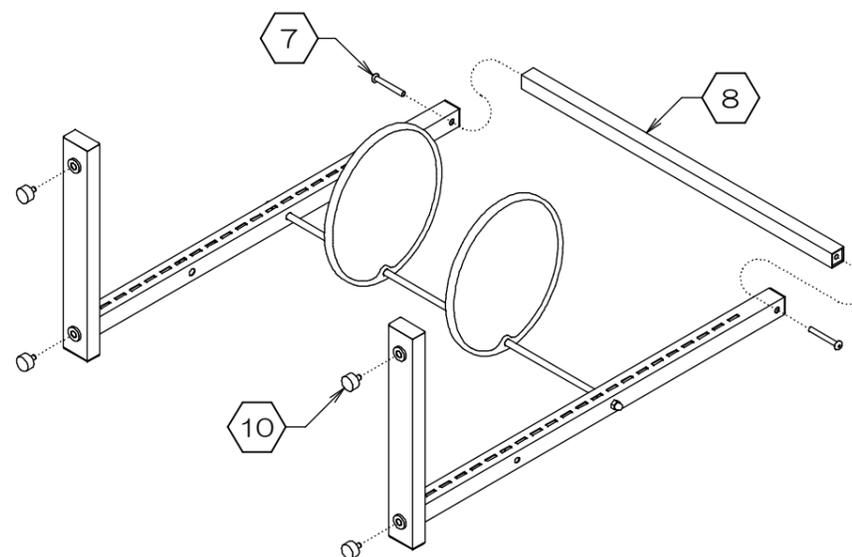
※ 丸パイプの取り付け穴は、下段棚の取り付け位置により変わります。

- ①丸パイプと③④左右のフレームを⑤袋ナットで仮留めします。(付属の⑥スパナをご使用下さい)



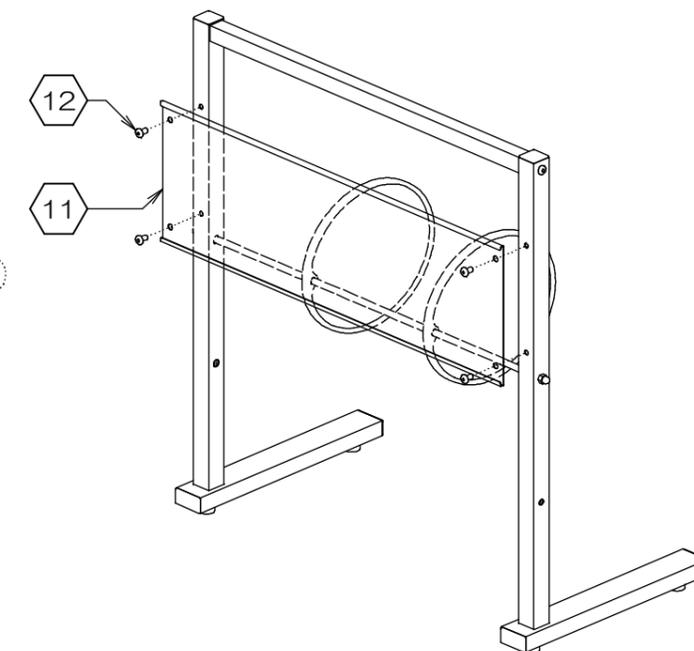
2. 角パイプの取り付け

- ⑦六角ネジ/大を使って、⑧角パイプを仮留めします。(付属の⑨六角レンチをご使用下さい)
- 次に、フレームの底面に⑩アジャスター4個を取り付けます。



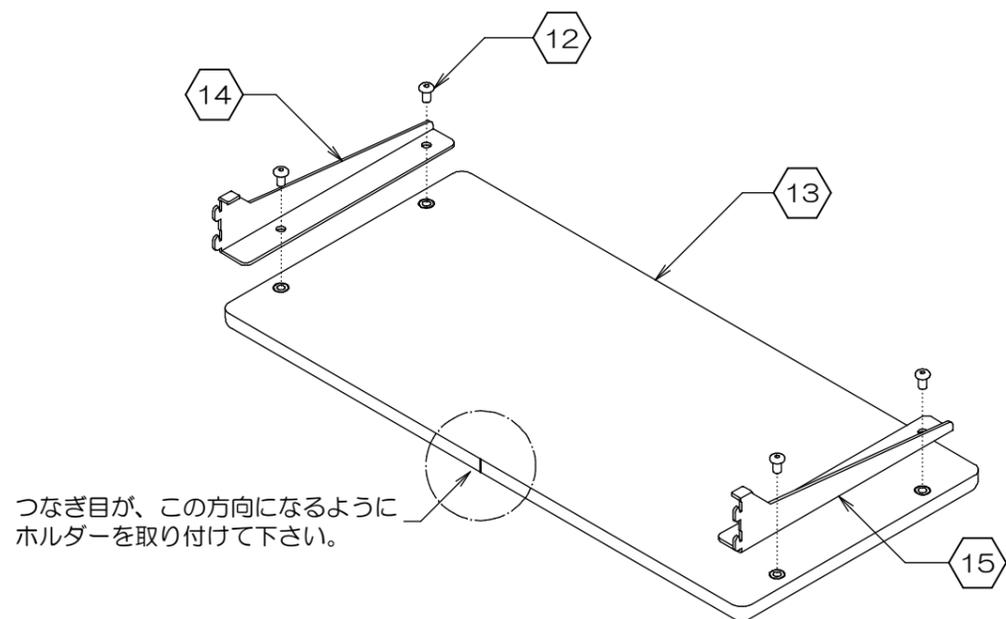
3. バックパネルの取り付け

- 本体をお越し、背面から⑪バックパネルを⑫六角ネジ/小4個で仮留めします。このときバックパネルの折り返しが、後ろを向くように取り付けて下さい。



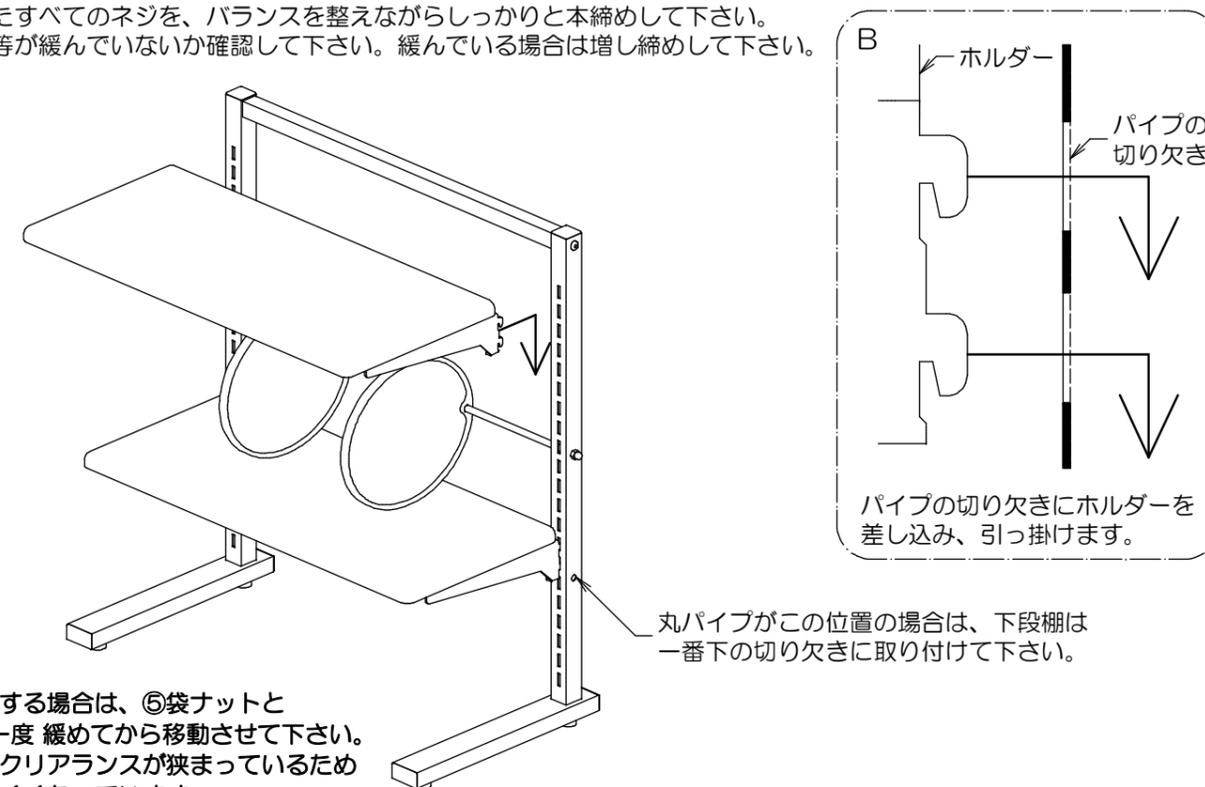
4. 棚の組み立て

- ⑬棚板に⑭⑮左右のホルダーを、⑫六角ネジ/小を使ってしっかりと固定します。その際、棚板側面のテープのつなぎ目が、後ろ向きになるようホルダーを取り付けて下さい。(下図参考)
- 同様に、もう一枚の棚も組み立てます。



5. 棚の取り付け

- 本体のフレームに、前項で組み立てた棚2枚を引っ掛けます。(図B参照) 棚の高さは、お好みで調節して下さい。
- 仮留めしていたすべてのネジを、バランスを整えながらしっかりと本締めして下さい。
- 最後に、ネジ等が緩んでいないか確認して下さい。緩んでいる場合は増し締めして下さい。



棚板の高さを変更する場合は、⑥袋ナットと⑦六角ネジ/大を一度緩めてから移動させて下さい。
※本締め状態ではクリアランスが狭まっているためホルダーが抜けにくくなっています。